**６　つなぐはたらきの言葉**

**１**

**⑴ ウ　　⑵ ア　　⑶ ウ　　⑷ イ　　⑸　ア**

**２**

**⑴ イ　　⑵　カ　　⑶　オ　　⑷　ア　　⑸　エ　　⑹　ウ**

**３**

**⑴ ア　　⑵　イ　　⑶　ア　　⑷　イ**

**４**

**⑴ ○　　⑵　イ　　⑶　ウ　　⑷　○**

**ポイント**

**それぞれのつなぐはたらきの言葉が、前とあととをどのようにつないでいるかをつかんで、しっかりと見分けられるようにしましょう。**

**１ ⑴**ウ「だが」は、前のことがらと対立することをあとにけるときに使います。それは、前のことがらがあとのことがらの理由になったり、前のことがらから予想されることがあとに続くことに使います。**⑵**ア「または」は、前のことがらとあとのことがらのどちらかをぶはたらきをします。それは、前のことがらに新たなことがらをけえるはたらきをします。

**４** **⑶**前の「雨がふってきた」ことに、あとの「かみなりまで鳴りだした」を付け加えています。「すなわち」は、前のことがらのをするときの使う言葉なので、付け加えるときの言葉に直します。